

第3回ぎふグリーン・ツーリズムネットワーク白川郷大会開催要領

1 目的

県では、豊かな自然や伝統文化とその恵みに育まれた農林漁業を地域資源ととらえ、それらを活かしたグリーン・ツーリズムを積極的に推進しています。

近年その取組のすそ野が広がり、県内各地で个性的かつ魅力的な取組が実践されるようになりました。そこで、グリーン・ツーリズムに関わる者が一堂に会し、農林漁業や農山村が持つ様々な魅力と今後の可能性について議論するとともに、相互交流と情報交換を通じ“ぎふグリーン・ツーリズム”の底上げと情報発信を行うことを目的とし、本大会を開催します。

2 テーマ

地域の特色を活かしたグリーン・ツーリズムをいかにデザインするか
～地域ならではのおもてなしとは～

3 期日

平成26年1月22日（水）～23日（木） 2日間

4 場所

大野郡白川村村内
メイン会場：トヨタ白川郷自然学校
エクスカージョン：白川村 村内

5 主催

岐阜県、岐阜県グリーン・ツーリズム推進連絡会議

6 後援（予定）

東海農政局、白川村、一般財団法人都市農山漁村交流活性化機構、
特定非営利活動法人日本グリーンツーリズム・ネットワークセンター

7 協力

白川郷まるごと体験協議会

8 内容

【第1日目】

時 間	内 容
12:30～	受付開始（トヨタ白川郷自然学校・催事ホール）
13:00	開始のあいさつ
13:00～15:00	エクスカージョンⅠ ①白川郷の豪雪体験 雪の森ガイドウォーク（トヨタ白川郷自然学校） ②白川郷の伝統工芸体験 ヒデ細工体験（野外博物館合掌造り民家園） ③白川郷の世界遺産集落ガイドツアー 世界遺産集落散策（白川村村内）

【第1日目（つづき）】

時 間	内 容
15:00～17:00	分科会『地域ならではのおもてなしを考える』 ①第1分科会：地域ならではの「食」を考える ＊地域の食材や食文化、伝統を生かした食の提供に加え、地域の食材を使った新しい食の提供により、食の魅力を深め「食」による誘客等について考える。 コーディネーター：有限会社レイク・ルイズ 代表取締役 堀田茂樹 氏 コメンテーター：株式会社鶉舞屋 代表取締役社長 高森幹啓 氏 ②第2分科会：「外国人旅行者」へのおもてなしを考える ＊外国人旅行者を対象としたグリーン・ツーリズムの提供等を通じ、地域の伝統文化等の理解を深めることで、地域の活性化が期待できる。そこで、外国人旅行者を受け入れるためのノウハウについて考える。 コーディネーター：北海道大学観光学高等研究センター 特任助教 麻生美希 氏 コメンテーター：株式会社美ら地球 代表取締役 山田拓 氏 ③第3分科会：地域の「人材」活用を考える ＊地域には魅力的な取り組みを行う「人材」が点在しているが、個々では受入や情報発信など活動の幅に限界がある。そこで、そうした個をつなげ、地域として人材を活かせる体制づくりについて考える。 コーディネーター：NPO法人白川郷自然共生フォーラム 事務局長 山田俊行 氏 コメンテーター：郡上市交流・移住推進協議会事務局ふるさと郡上会 小林謙一 氏
17:00～18:30	エクスカージョンⅡ 白川村荻町下ゴゾ地区のライトアップ見学
19:00～	交流会（鳩谷コミュニティー会館）※宿泊場所は当日案内されます。

【第2日目】

時 間	内 容
9:00～	受付開始（トヨタ白川郷自然学校・催事ホール）
9:30	開会
9:30～9:40	あいさつ
9:40～10:00	分科会報告
10:00～11:00	基調講演『都市と農山漁村の交流の推進について』講師：東海農政局
11:00～11:10	休憩
11:10～12:30	パネルディスカッション『地域の特色を活かしたおもてなしとは』 パネリスト：株式会社鶉舞屋 代表取締役社長 高森幹啓 氏 株式会社美ら地球 代表取締役 山田拓 氏 郡上市交流・移住推進協議会事務局ふるさと郡上会 小林謙一 氏 コメンテーター：東海農政局 コーディネーター：NPO法人白川郷自然共生フォーラム 事務局長 山田俊行 氏
12:30	閉会

9 参集者

グリーン・ツーリズム実践者、都市と農村の交流に興味のある方、行政担当者など

10 定員

先着100名（ただし、定員を超えた場合でも2日目の全体会のみ参加は可能です。）

11 参加費

無料（ただし、交流会費（6,000円）及び宿泊料（6,000円）は別途精算）